

区 分	内 容
テーマ・事業名	江南区 魅力発掘・発信プロジェクト 【事業費予算1,000千円】
事業目的・概要	<p>【目的】 アフターコロナを見据え、区内への来訪者増、関係交流人口の拡大に向けて、地域の魅力を掘り起こし発信することにより、まちの活性化につなげる。</p> <p>【概要】 ○地域の魅力を発信するマップを作成する。</p>
事業の実施実績 (実施回数、参加者数など)	<p><u>横越地区の魅力を発信するマップの制作</u></p> <p>【実施理由】 ○人口減少が進む中、関係交流人口を拡大することがまちの活性化に繋がると考える。コロナ禍で人流や、様々な交流機会も減少している状況を考慮し、アフターコロナを見据えながら区内への来訪者増やまちの魅力向上を図っていく必要がある。 ○区内各地区には様々な宝、魅力があり、それらを掘り起こすとともに、江南区全体と各地域を関連付けて紹介することが重要と考え、そのツールとしてマップを作成することとした。 ○区内でマップがない地域は曾野木地区と横越地区(沢海エリア以外)であり、2か年で両地区を作成した。(R3年度:曾野木地区、R4年度:横越地区) ○完成したマップは、区内の小中学生の学習に使用いただくため学校に配布したほか、区内の公共施設に設置した。</p> <p>【部会における取り組み】 ○横越地区まちめぐりの実施 ・日時:令和4年9月29日(木) 13時から17時 ・場所:横越エリア(10か所) ・参加者:まちづくり部会委員10名、事務局1名、横越コミュニティ協議会 ○参考資料の収集 ○掲載内容の検討 ・協力:横越コミュニティ協議会、(一財)北方文化博物館</p>
事業の評価 (地域課題の抽出方法や企画立案の評価 事業の公益性・実効性・効率性の評価など)	<p>【令和4年度の事業評価】 ○地元の住民であっても、住む土地の歴史についての理解や知識が浅いことが多い。作成することで、地元の歴史を学ぶ良い機会になったとともに、コミ協や北方文化博物館などとの連携・協働を図ることができた。 ○マップは、地区の歴史や文化などを盛り込み、デザインも親しみのあるものにすることができた。</p> <p>【来年度の展開について】 ○来年度においても、今期の取組の意義や継続性を意識しながら、まちの活性化に向けた取組を行っていく必要がある。</p>
備考	

区自治協議会提案事業 事業評価書

江南区自治協議会

区 分	内 容
テーマ・事業名	誰でも安心して安全に暮らせるまちづくりプロジェクト 【事業費予算 1,000千円】
事業目的・概要	<p>【目的】 災害発生時などにおいて、具体的にどのような備えが役に立つか、どのような対応が必要かを習得してもらうため、PR活動等を実施する。 また、子どもから大人まで「支え合い」「助け合い」を考えるきっかけを作り、誰もが安心・安全に暮らせるまちを目指す。</p> <p>【概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・区役所だより「こうなん」に防災Q&Aコーナーを不定期連載 ・区内小学校新1年生に助け合い絵本の配付 ・安心安全グッズ等の配布
事業の実施実績 (実施回数, 参加者数など)	<p><区役所だより「こうなん」に防災Q&Aコーナーを連載> 区役所だより「こうなん」に自治協委員が普段疑問に思っている防災に関する質問をQ&A形式で連載。 ○内容等: 避難時には何をもっていけばいいのか、避難所と避難場所は違うのか、・・・など</p> <p><区内小学校新1年生に助け合い絵本の配付> 当部会で平成30年度に作成した「支え合いの絵本「みんなにここにこ」を区内6小学校の新1年生全員に配付。</p> <p><助け合いカレンダーを作成> 区内の助け合い活動の事例を集めたカレンダーを配布。</p>
事業の評価 (地域課題の抽出方法や企画立案の評価 事業の公益性・実効性・効率性の評価など)	<p>○区役所だよりに掲載することで、効率的にPRできた。来年度以降も継続し、江南区全体の防災意識向上と防災力の強化に寄与したい。</p> <p>○支え合いの絵本を通じて、地域ごとに読み聞かせが行われるなどの動きがみられるようになった。</p> <p>○カレンダーの配布を通じ、助け合い活動を広めることができた。</p>
備考	

区自治協議会提案事業 事業評価書

江南区自治協議会

区 分	内 容
テーマ・事業名	<p>多世代交流”みらい”プロジェクト 【事業費予算 1,000千円】</p>
事業目的・概要	<p>【目的】 子どもから高齢者まで、多世代が交流する事業を検討・実践することで、コミュニティの活性化や、暮らしやすい”みらい”の地域づくりにつなげる。</p> <p>【概要】 きれいで暮らしやすい江南区を目指し、これまでのごみ拾いに、「スポーツ」のエッセンスを加え、「競技」へと変換させた日本発祥の新しいスポーツスポGOMI大会を昨年度に引き続き開催する。</p> <p>また、子育て中の母親など区民に亀田縞をより身近に感じてもらえるよう、亀田縞のエプロンづくり教室を実施し、江南区の魅力を発信する。</p>
事業の実施実績 (実施回数, 参加者数など)	<p>1. スポGOMI大会 日時: 10月10日(月・祝) 午前10時～正午(受付: 9時30分) 集合場所: 亀田西小学校 →雨天中止 日時: 3月12日(日) 午前10時～正午(受付: 9時30分) 集合場所: 曾野木小学校 参加人数: 81名 収集重量: 73.3kg</p> <p>2. 亀田縞エプロン教室 日時: 3月8日(水) 午前9時30～正午(受付: 9時15分) 集合場所: 江南区文化会館 参加人数: 10人</p>
事業の評価 (地域課題の抽出方法や企画立案の評価 事業の公益性・実効性・効率性の評価など)	<p>1. スポGOMI大会 ○ごみを拾うことで地域の良好な環境づくりに寄与できた。 ○燃えるゴミ、燃えないゴミ、ペットボトル、空き缶、たばこの吸い殻といった種類ごとにゴミを分別し拾うことで、どのゴミが多いかなど地域の環境美化を改めて考える機会を提供できた。 ○小・中学生、親世代、祖父母世代の参加があり、多世代で交流する事業を実施できた。 ○全参加チームが「満足」「やや満足」と回答し、満足度の高いイベントとなった。 ○参加者から「以外とゴミが多くびっくりした」「楽しくゴミ拾いをできた」「また参加したい」との声をいただいた。</p> <p>2. 亀田縞エプロン教室 ○亀田縞の商品を持っていない人にも亀田縞を身近に感じてもらえる機会を提供できた。 ○保育を実施することで、今後、亀田縞を普及したい子育て中の母親にも参加いただけた。</p>

区自治協議会提案事業 事業評価書

江南区自治協議会

区 分	内 容
テーマ・事業名	<p>地域課題解決サポートプロジェクト 【事業費予算2,000千円】</p>
事業目的・概要	<p>【目的】 人口減少対策に向けた各地域でのワークショップの結果を踏まえ、地域の課題解決やコミュニティの維持・向上につながる地域主体の取り組みを支援する。 【概要】 ・区内のコミュニティ協議会を対象に、地域課題の解決やコミュニティの維持・向上につながる取り組みを提案してもらい、委託事業として実施する。</p>
事業の実施実績 (実施回数、参加者数など)	<p>◎曾野木地区コミュニティ協議会 事業名:愛&絆 そのき光のページェント 取組概要:曾野木コミュニティセンターにイルミネーションの設置、SNSを活用した情報提供 など</p> <p>◎亀田小学校区コミュニティ協議会 事業名:図書コーナーを地域住民の拠り所に 取組概要::亀田地区コミュニティセンターにイルミネーションの設置、亀田小学校創立150周年記念展示会 など</p>
事業の評価 (地域課題の抽出方法や企画立案の評価 事業の公益性・実効性・効率性の評価など)	<p>◎各地域で抱える課題に対して支援を行うことで、地域の課題解決やコミュニティの維持・向上が図られた。 ◎区内のコミュニティ協議会を対象としていたが、新型コロナウイルスの影響もあり、3コミュニティ協議会での実施に留まった。 ◎事業開始より来年度で3年目を迎えることから、自治協議会にて本事業のあり方について検討していくこととする。</p>
備考	